



『物に対するリスペクト』

校長 飯田 剛

早いもので今年も最後のひと月、師走を迎えました。私自身、4月に本校へ着任してから8か月が経過し、時の流れの速さを感じます。12月を皆さんはどのように過ごされるでしょうか？ ご家庭や地域では、新しい1年を迎えるにあたり、この1年を振り返る機会が多々あると思います。学校では担任・保護者とともにこの2学期の振り返りをする三者面談が始まります。是非とも「良かった、頑張った」点も振り返り、自分を褒め、10月に掲載しました「自己効力感」が上がるような振り返りをし、新しい年を迎えられることを願っています。

さて、我が国の先人たちは、生き物以外の「物」もまた、ひとつの「いのちあるもの」として捉えていました。国内の各地には、今でも「針供養（はりくよう）」や「筆供養」のように、役目を終えた道具を供養する習慣が残っているところもあります。また、さまざまな道具の「供養塚」がもうけられているところもあります。暮らしを支えてくれる物を尊び廃棄せざるを得なくなったときは、その物の「いのち」を惜しみつつ供養することを通じて、物を大切にすることを培ってきたのです。これが「もったいない」という言葉の背景にある日本古来の文化なのかもしれません。

また、物を尊び、その「いのち」を十分に生かそうとする意識は、3R（「Reduce（リデュース）ゴミを減らすためにゴミそのものを減らす」、「Reuse（リユース）ゴミとして捨てずに何回もくり返し使う」、「Recycle（リサイクル）ゴミをもう一度資源として再利用する」）の取組にもつながるものです。私たちの身の回りには、元をたどればすべてが「自然から与えられたもの」ということができます。私たちはそうした物を通じて自然の恩恵を受けているのです。また、その物が私たちの手元にやってくるまでには、物づくりや流通などに携わった多くの人たちの労力のおかげもあるのです。こうした物の背後にあるさまざまな恩恵を認識して、物の「いのち」を生かし切る努力をすることは、日々それらの恩恵を受けている者としての大切な心がけといえます。

— 物に対するリスペクト —

我が国は物が豊かな時代を迎えました。だからこそ、生徒の皆さんには物へのリスペクトを大切にしてほしいと思います。物を大切に扱うことで、私たちの生活がより豊かになり、他人へのリスペクトも育まれます。年末を迎えた今、「人のいのち」と同様に「物のいのち」についても考えてみてください。

《チャレンジ・ザ・ドリーム》

2年生の職場体験チャレンジ・ザ・ドリームが、11月18日(月)～11月22日(金)までの5日間行われました。29か所の事業所・会社・お店の協力のもと、無事終わることができました。協力してくれた方々には、大変感謝申し上げます。

生徒は、初めて体験することが多く、職場の方々の話をよく聞き、丁寧に責任感をもって、職場体験をすることができました。事業所で体験した生徒は、営業と一緒に回り、名刺交換や配送の補助をすることができました。小売店で体験した生徒は、大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」を言うことができ、微笑ましい姿を見ることができました。日頃、やり慣れないことをしているので、家庭に帰宅した時には「疲れた」という言葉が多く聞こえたようです。学校では、達成感や充実感のある顔つきをしており、満足度の高い5日間を過ごすことができていたように見えました。



12月の行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	日		17	火	
2	月	三者面談始、作品展示会始、全校朝礼	18	水	
3	火		19	木	
4	水		20	金	
5	木		21	土	
6	金	三者面談終、作品展示会終	22	日	
7	土		23	月	安全指導
8	日		24	火	大掃除、研修会、給食終了
9	月	作品展示会片付け	25	水	終業式
10	火		26	木	冬季休業始
11	水		27	金	
12	木		28	土	
13	金	避難訓練(不審者)、専門委員会	29	日	閉庁日始
14	土		30	月	
15	日	私立高校入試相談、スピーキングテスト(予)	31	火	
16	月	生徒会朝礼、私立高校入試相談			